

○「ぎふいのちの教育」とは、どんな教育活動を求めているのでしょうか。

児童生徒一人一人が、自分と他者のかけがえのない命を大切にし（『命の尊厳』）、仲間と協働する中で自分らしさを発揮したよりよい生き方を求める（『生き方を考える』）、学校教育の基盤となる二本柱の教育活動です。

岐阜教育事務所では、各種訪問や研修等を通して、各学校の教育活動を「ぎふいのちの教育」の視点から価値づけるとともに、素晴らしい取り組みを紹介したり、学校間のネットワークを広げたりする支援をしていきます。

○『命の尊厳』と『生き方を考える』を視点として振り返ると、教育活動を改善するヒントが見つかります。

『命の尊厳』の視点

- いじめはどこにでも発生するが教師には見えにくいことを自覚し、小さな兆候でもいじめととらえて、チームで対応する。
- 不登校児童生徒の不安を受け止め、気軽に話せる人や安心して活動できる場所を見つけるなど、社会的自立へ向けて支援する。
- 児童生徒の発するSOSを見逃さないために、SOSの出し方や受け止め方を学び、保護者や専門機関と連携して自殺を予防する。
- 児童生徒を虐待や性被害から守るため、気になる兆候があれば素早く組織で対応し、躊躇せず子ども相談センター等へ通報する。
- 心のアンケートや教育相談を継続させ、児童生徒の変化をとらえる。

『生き方を考える』の視点

- 教科等の授業では、児童生徒一人一人が学ぶ喜びを自覚し、仲間と協働しながら資質能力を育む授業改善に取り組む。
- 学級活動や行事への取り組みでは、自分や仲間のよさや個性を認め合う温かい人間関係づくりを最優先課題にして取り組む。
- 特別の教科道徳や総合的な学習の時間では、児童生徒が社会や未来に目を向け、夢や憧れを抱きながら自ら課題を見出し、他者と協働して最適解を導き出す体験活動に取り組む。
- 地域や社会の歴史と未来に目を向け、出逢った人の生き方から学び、自らも地域社会人として活躍する志を抱く。

○ 各種訪問事業を通して、各学校における素晴らしい教育活動を価値付けるとともに、岐阜地区全体へ広めていきます。

「ぎふいのちの教育」に関わる主な教育活動と各種訪問事業（※数字は重点とする訪問事業の番号）

【いじめ防止・不登校支援の教育】	【自殺予防教育】	【健康教育】	【心の教育】
◎温かい人間関係づくり ◎居場所と絆づくり	◎SOSの出し方・受け止め方教育 ◎性被害から守る予防教育	◎健康と命の大切さ、命の誕生 ◎性に関する理解	◎生命尊重 ◎生きる喜びを実感する体験活動
【訪問：①③⑤⑩】 ・話しやすい大人への教育相談体制 ・校内教育支援センターの設置 ・関係機関との連携による学習保障	【訪問：②④⑪】 ・SC、養教等との自殺予防TT授業 ・心と体を守る教育 ・性被害・児童虐待防止等の防止	【訪問：④⑤⑧】 ・発達の段階に応じた保健体育授業 ・専門家（医師等）に学ぶ命の授業 ・地域の実態に即した防災教育	【訪問：①③⑥⑦】 ・全教育活動を通じた人権教育の推進 ・多様な生き方への気づきの喚起

1. 岐阜教育事務所



2. 岐阜県総合教育センター



3. 教職員支援機構(nits)



4. 文部科学省(YouTube)



ヒントが
見つかるよ！

